

かりや市議会

今年は刈谷城築城480年!



だより

〈第120号〉

・発行 刈谷市議会 ・〒448-8501 愛知県刈谷市東陽町1丁目1番地 ・電話〈0566〉62-1032 Fax〈0566〉25-1111 ・編集 議会広報委員会
 ・刈谷市議会ホームページアドレス <http://www.city.kariya.lg.jp/shigikai/> または



刈谷のまちを守る！消防団員が躍動 ～刈谷市消防操法競技会～

※県大会（8月10日西尾市）には、市を代表して第8分団（半城土）が出場します



刈谷市子ども・子育て会議条例の 制定など12議案を可決

今定例会より、議案に対する全議員の
賛否を公表（関連3ページ）

主な記事	ページ
議決した議案	2～3
委員会の動き	3
一般質問	4～6
議会改革の取組	7
議会を振り返る	8

6月定例会のあらまし

この定例会は6月12日に招集され、会期17日間で、6月28日に閉会しました。今回は議案など19件が提出されました。

主な議案は刈谷市子ども・子育て会議条例の制定についてなどです。

◆6月12日～6月14日◆本会議

（議案説明、一般質問）

市長から提出された議案について説明を受けた後、15名の議員により42項目について一般質問が行われました。

◆14日◆本会議

（議案審議、委員会付託）

損害賠償の額を定める専決処分等の報告などがありました。その後、刈谷市税条例の一部改正についてなど11議案の説明を受け、関係する委員会で審査することになりました。

次に、平成25年度刈谷市一般会計補正予算について説明を受けた後、予算審査特別委員会を設置して審査することになりました。

6月定例会での傍聴者数は延べ38人です。

◆14日◆予算審査特別委員会

予算議案の審査のため、分科会を設置し審査することになりました。

◆18日～21日◆委員会審査

議案や陳情が審査され委員会での採決が行われました。

◆27日◆予算審査特別委員会

分科会での審査の経過と結果が報告され、予算議案の採決が行われました。

◆28日◆本会議

各委員長より、委員会での審査の経過と結果が報告されました。一部の議案について、反対意見がありました。採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決されました。

★傍聴をお待ちしています★

※8月臨時会の開催予定*

8月8日（木）本会議

※9月定例会の開催予定*

- 8月21日（水）議会運営委員会（運営を協議）
- 23日（金）議会基本条例検討特別委員会
- 9月3日（火）議会基本条例検討特別委員会（13時から）
- 4日（水）本会議（開会、一般質問等）
- 5日（木）本会議（一般質問）
- 6日（金）本会議（一般質問、議案説明）
- 10日（火）決算審査特別委員会・予算審査特別委員会
- 11日（水）企画総務委員会
- 12日（木）福祉経済委員会
- 13日（金）建設水道委員会
- 17日（火）文教委員会
- 17日（火）議会基本条例検討特別委員会
- 24日（火）決算審査特別委員会・予算審査特別委員会
- 25日（水）議会運営委員会（運営を協議）
- 本会議（委員長報告・採決）

各会議は10時から開会します。当日各受付までお越しください。
 本会議：市役所10階、傍聴受付
 委員会：市役所9階、議会事務局受付

○託児を希望される方へ
 傍聴の際、臨時保育室「カンガルールーム」をご利用できます。傍聴希望日の3日前までに議会事務局までご連絡ください。

○手話通訳を希望される方へ
 傍聴の際、手話通訳者派遣制度をご利用できます。傍聴希望日の1週間前までに障害福祉課（TEL62-1208・FAX24-2466）までご相談ください。

一般質問KATCH放映（106ch）
 9月6日、11日、13日でいずれも18時から。
 詳しくはチャンネルガイドをご覧ください。

主な議案 6月 定例会

今回は、刈谷市子ども・子育て会議条例の制定についてなど12件が審議されました。
質疑については、本会議で報告された各委員会の委員長報告を中心に、要約して掲載します。

単行議案

■刈谷知立環境組合規約の変更について

施設の老朽化に伴う余熱ホールの改修に当たり、利用の少ない浴室、大広間、和室などの休養施設部分を廃止し、利用者アンケートなどによる要望の高いトレーニングジム、フィットネススタジオ、水着で利用できるクワコナーなどを新設します。

〔問〕アンケートの結果はどのようになっているか。また、お風呂をなくすことについてどのように考えているのか。

〔答〕余熱ホールに欲しい機能施設として、エクササイズフィットネスジムが約40%、充実した温浴施設が約20%で合わせて6割を占めている。

浴室については、職員が目が届かない部分があり、危険性もある。特定の高齢者の利用頻度が多いため、その方達には、ひまわりやたんぽぽな

■訴えの提起について

どの無料施設を案内していく。一定期間家賃を滞納し、家賃の支払い等に応じていない者に対して、市営住宅の明渡し及び家賃の支払いを求めるため訴えを提起します。

〔問〕訴えの提起を行ったのはどのような理由からか。

〔答〕3か月以上の滞納があり、再三の支払い請求や訪問による納入指導、納入誓約をしたものの、それに基づく納入約束が守られていないなど、誠意のある対応が見られなかったためである。

〔問〕これまでに訴えを提起された対象者の、その後の状況はどうなっているか。

〔答〕40件のうち、退去及び強制執行による退去者が25件、訴えの提起をした時点で家賃を支払われ、居住している人が15件である。

■工事請負契約の締結について
東刈谷小学校中舎について、外壁や内部の改修及び増築など、大規模改造を行います。

請負契約金額 1億6,149万円

契約の相手方 アイシン開発株式会社

工期 平成26年3月10日まで

〔問〕大規模改造工事を行う目的と、工事によって向上する

■人権擁護委員の候補者の推薦について
平成25年9月30日で任期満了となるので、次の方を再び推薦することに異議のない旨、答申しました。

角谷 信男 氏 (3期目)
刈谷市丸田町

筒井 幸氏 (3期目)
刈谷市司町

人権擁護委員とは・・・
人権擁護委員は国民に保障されている基本的人権を守るため、法務大臣より委嘱されています。市長は議会の意見を聞き、法務大臣に推薦します。

機能は何か。

〔答〕東刈谷小学校の中舎は、建設後36年が経過しており、老朽化による建物の機能低下が見られるため、予防的な措置を含め電気、管などの設備関係、建具や壁などの内外装関係を一齐に改修し、児童の教育環境の改善と建物の耐久性の確保を図る。

〔問〕今回議案となっている本工事のほかに、どのような費用が見込まれるのか。

〔答〕電気工事に約2千5百万円、管工事に約3千3百万円を見込んでいます。

■固定資産評価員の選任について
前任者の辞職に伴い、次の方を選任することに同意しました。

山岡 俊秀氏
刈谷市野田町

報告案件

■損害賠償の額を定める専決処分について

本市の業務車の運転により生じた、相手方の乗用車への損害に対し、損害賠償します。

損害賠償額 14万1,218円
平成24年度繰越明許費の繰越しについて

繰越明許費とは、天候不順、交渉の不調などにより事業の完了が遅れた場合、翌年度に限り予算を繰り越して支出できるものです。

◇一般会計◇
道路総点検事業など17件
繰越総額 8億3,866万円

◇特別会計◇
刈谷市下水道事業特別会計
繰越総額 2億7,953万円

条例議案

■刈谷市子ども・子育て会議条例の制定について

一人一人の子どもが健やかに成長することができるとして、現に寄与することを目的とする「子ども・子育て支援法」の制定に伴い、子育て支援施策に対し子育て当事者等の意見を反映させ、施策の総合的かつ計画的な推進に必要な事項などを調査審議するための会議を設置します。

(1) 委員数 20人以内
(2) 委員の構成
①学識経験を有する者
②子どもの保護者
③子ども及び子どもの保護者に対する支援に関する事業に従事する者

④その他市長が必要と認める者
〔問〕会議の設置によって、どのような効果が見込まれるか。
〔答〕潜在的なものを含め、教育、保育及び子育て支援のニーズが適切に把握されているか、ニーズを満たすだけの必要な子育て支援事業が計画に盛り込まれているかなど、子育て関係者が子ども・子育て支援事業計画の立案から評価まで一貫して関与する場としての機能が期待されている。
〔問〕女性委員は何人となるか。
〔答〕愛知教育大学の教授(家族社会学・ジェンダー研究)を初め、保育園及び幼稚園の保護者代表など、委員の半数となる10名を予定している。

補正予算議案

補正予算議案は、全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、企画総務、福祉経済、建設水道、文教の各分科会で審査されました。

6月27日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果を各分科会委員長より報告を受けました。

補正する額(一般会計)
▲1億1,338万1千円
補正後の予算総額(一般会計) 47億1,661万9千円
補正後の予算総額(全会計) 74億9,684万6千円

(災害対策)
災害時などの非常用電源確保のため、住吉小学校の屋上に20kwの太陽光パネルを設置します。
3,500万円
国の社会資本整備総合交付金

を活用し、青山公園、岩ヶ池公園に災害用マンホールトイレやかまどベンチ、防災備蓄倉庫などを設置します。
1,400万円
(公園)
県が行う「あいち森と緑づくり事業」を活用し、亀城公園再整備事業に併せて桜の並木道の整備を行います。
1,200万円



毎年桜まつりでにぎわう亀城公園

※市民の方等から貴重なご寄附をいただきました。補正予算に計上し活用させていただきます。
・公園事業費として 100万円
・教育振興事業費として 60万円

請願・陳情の結果

今回市民の皆さんから提出された陳情2件は、関係する各委員会へ審査された結果、いずれも不採択となりました。

(陳情)
▼働く者の権利を守り、公務・公共サービスの充実、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情 不採択
▼働く者の権利を守り、公務・公共サービスの充実を求める陳情 不採択

委員会の動き

企画総務委員会

◆所管事務調査

刈谷市行政経営改革プランについて

昭和60年より、全庁的に継続して取り組んでいる行政改革の取り組みについて、新たな改革への具体的な取り組みと工程を示すアクションプランとして策定しました。

- (1) 削減効果 約99億円
(2) 基本目標 (6つの市役所づくり)

①市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

②次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

③市民から期待される先進的な市役所づくり

④市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

⑤最少コストで最大サービスを提供する市役所づくり

⑥創造性豊かで、柔軟な発想と行動ができる職員を育てる市役所づくり

そのほか「広域災害ネットワーク加盟自治体との交流について」「パスポート発給事業について」などが話し合われました。

福祉経済委員会

◆所管事務調査

県内農業共済組合等の合併について

農林水産省による、農業共済組合の1県1組合への移行方針を受け、組織を合併することにより、安定した運営基盤を確立するとともに、組織運営や業務

の効率化を図ります。

そのほか「障害者優先調達推進法について」「小規模事業者等への支援について」「第2次刈谷市地域福祉計画の実現について」「観光推進について」「刈谷市総合病院東分院の医療体制について」「授産施設への通所状況について」「資源物等のごみの持ち去りについて」などが話し合われました。

建設水道委員会

◆所管事務調査

市営住宅明渡し訴訟経過報告について

平成24年6月議会で議決された訴えの提起について、その後の状況についての経過報告がありました。

そのほか「駐輪場の整備状況と今後の計画について」「公園施設の長寿命化計画について」「公共施設連絡バスについて」「雨量観測システム事業について」「刈谷駅南北連絡通路について」「下水道施設における緊急時の対応と課題について」などが話し合われました。

文教委員会

◆所管事務調査

刈谷市歴史博物館建設予定地の地質調査結果について

逢妻町4丁目建設予定の歴史博物館について、南海トラフ巨大地震(M9)を想定し、震度や液状化の予測を行いました。

- (1) 震度 6強
(2) 液状化・・・一部の地層で液状化が懸念されるが、地盤沈下の影響は小さい
(3) 建設における留意事項

①構造物を支える基礎は、表層地盤が軟弱なため杭基礎が妥当であるが、液状化対策を含めた工法の検討が必要。

②重要な展示物を守るため、免震構造または制震構造の採用を検討する。

③津波浸水対策は、地盤の盛土及び展示物配置の検討を行い、リスク軽減を図る必要がある。

そのほか「子ども相談センターについて」「登下校中の防犯体制について」「きずなネットについて」「特別支援学校の設置について」などが話し合われました。

議会基本条例検討特別委員会

条例の素案が完成し、市民の皆様からの意見募集を行いました。条例の制定へ向けて、準備を進めています。

議決結果一覧表

Table with 2 columns: 議案内容 (Proposal Content) and 議決結果 (Decision Result). Includes items like '損害賠償の額を定める専決処分について' and '刈谷市土地開発公社経営状況について'.

6月定例会提出議案の賛否について

6月定例会へ提出された議案のうち、賛否が分かれたものについてご紹介します。

Large table showing voting results for various proposals. Columns include: 議案名及び議決結果 (Proposal Name and Decision Result), 自民クラブ (Liberal Club), 市民クラブ (Citizens Club), 公明クラブ (Komei Club), 日本共産党議員団 (Japanese Communist Party), 清風クラブ (Kiyoharu Club), 志誠会 (Shiseikai), 新長クラブ (Shincho Club), 議長 (Chairman), 副議長 (Deputy Chairman).

いきたいと考えている。住民にとって利用率が上がり、地域の診療所で受診する人が増えれば、刈谷豊田総合病院が本来受け持つべき高度医療、専門医療、救急医療の分野に専念できることとなり、地域医療の質の向上につながるものと考えている。

黒川 智明議員（一問一答方式）
高齢化などの諸課題を踏まえた交通環境の整備を
 —市民からの要望を参考に交通体系の見直しを検討していく—

問 刈谷市都市交通戦略が目指す姿とはどのようなものか。

答 鉄道やバスによる公共交通の充実や自転車ネットワークの形成等により他の交通手段への転換を促し、自動車交通量を10%削減するとともに、幹線道路の整備や渋滞、交差点の解消等により主要区間の平均所要時間10%短縮を目標としている。

問 高齢化により買い物難民が刈谷でも増大していくと考えているが、バス路線の課題と今後の進め方はどのようなものか。

答 アンケートではバスの利便性の向上に対する要望が高く、運行本数の増加、南北を縦断する幹線路線の設置等の要望がある。今後は市域を縦断する名鉄バス刈谷愛教大線を含めたバス交通のあり方や、路線の見直しを検討したいと考えている。

問 交通不便地域から乗車地点までの交通手段についてどの



市民の交通手段として活用されている刈谷市公共施設連絡バス

ように考えているか。

答 居住者50人以上を対象にした、半径250メートル以内バス停がある町の割合は97%であり、バス路線は市内を概ね網羅していると考えているが、一部の交通不便地域を考慮したバス路線の見直しや、デマンド交通等の導入を研究していきたい。

山本 シモ子 議員（一括質問一括答弁方式）
車いす生活者などは、市営住宅で救済を
 —応募者の入居条件等の十分な聞き取りによる確認を実施—

問 市営住宅への市民の入居要望は、依然として高い状況である。5月1日の入居者募集では、1戸の募集に対して66人で抽選したが、このような状況についてどのように考えているか。

答 経済情勢の変化に伴う厳しい雇用状況、障害者や高齢者などの民間アパートへの入居が厳しいことなどにより、住宅困窮者が生じていると考えている。

問 車椅子で生活している60歳の女性は、民間アパートの2階が居室で、生活に困難をきたしている。昨夏から1階の住居探しに奔走するも、転居先が見つからない。

答 公営住宅は、このような課題を抱えている市民を救済する責任があると思うが、市営住宅が果たす役割について、どのように考えているか。

答 住宅に困窮する低所得者を対象とし、公平な住宅の供給に努めることが大切であると考えている。

問 本市の市営住宅は、近隣市と比較して充足しているとの

野村 武文 議員（一問一答方式）
記念事業を一過性のまちおこしにしないための今後の考えは
 —継続的に進めていくための事業展開を検討—

問 史実という問題とまちおこしという問題は峻別する必要

答 水野忠政が刈谷城を築城したことは寛政重修諸家譜に記載されている。しかし、現在の本市の発展は江戸時代に刈谷藩が設けられ、その城下町として発展を遂げてきた基礎がある。

問 刈谷城築城から480年の歴史の中で発展の基礎を築いた初代刈谷藩藩主水野勝成の功績は、戦国から続く本市の歴史ロマンの象徴として受け入れやすく親しみやすい武将であることから、水野勝成を取り上げている。

問 記念事業を一過性のものにせず、それを活用し、事業展開を統一的に展開することが大

中嶋 祥元 議員（一問一答方式）
祝日保育に対する今後の考え方、進め方は
 —利用状況を踏まえ、課題やニーズを把握し、検討していく—

問 あおば保育園とおがきえ保育園で休日保育を実施しているが、そのうち、祝日保育の利用人数は何人か。また、他園からの利用人数はどれくらいか。

答 昨年度の利用は、あおば保育園が78人、うち他園からは30人、おがきえ保育園が42人、うち他園からは10人である。

問 保育園の行事で平日に開

ことだが、希望者の実態に即していない。市営住宅を増設して市民を救済するべきではないか。

答 入居条件等の十分な聞き取りを行うなど、今後も公平かつ適切に供給していく。



刈谷城表門のCGイメージ図

切である。次年度以降のまちおこしをどのように考えているか。

答 記念事業は郷土の歴史文化を再認識し、未来の刈谷づくりに向けて市民と行政が一体となったまちづくりを進めるスタートの年と位置づけている。今後は、記念事業全体の評価を行った上で、郷土の歴史、文化の啓発発信と継続的に進めていくための事業展開を検討していく。

問 催す行事は年間何回あるのか。

答 入園式と卒園式、保育参観は全ての園で平日に開催している。運動会や生活発表会は、平日開催と土曜開催の園があるため園ごとに異なるが、年間3回から6回程度である。

問 保護者の負担を考えた場合、もう少し土日開催の行事があってもいいのではないか。

答 各保育園では行事の開催日を保護者会の役員と協議の上、決定している。保護者の勤務態勢や休暇制度もさまざまであるため、今後も保護者の理解を得ながら決めていきたい。

問 祝日保育の拡充が必要と

新村 健治 議員（一問一答方式）
災害に強い町づくりを目指し様々な視点から十分な対策を
 —避難所の充実や企業との連携強化などに努める—

問 災害発生時の市民の避難

答 高齢者、障害者、妊産婦や乳幼児などを受け入れる福祉避難所のうち、公共施設の4箇所については新たに防災備蓄倉庫を設置し、車椅子、リクライニングベッド、おかゆ、離乳食、おむつなどを備蓄したほか、民間福祉施設の4箇所についても今年度、倉庫を整備し、備蓄を行っていく。

問 現在、市民会館跡地に整備されている大手公園は、防災拠点としてどのような位置付け

答 トヨタ系企業8社と協定を結び、従業員に対する帰宅支援や食料・飲料水の確保、あるいは企業が保有する施設を近隣住民へ一時避難所として提供するなどの対応をお願いしている。

考えるが、実施園を増やすための課題は何か。

答 勤務のローテーションができる職員の確保が一番の課題と考えている。利用状況を踏まえ、様々な課題やニーズを把握し、検討していく。

問 市役所や市民交流センターに近接する災害復旧支援活動の拠点として位置付けており、マンホールトイレやかまどベンチに加え、ソーラー照明や耐震貯水槽も設置している。

問 大規模災害発生時の民間企業や商業施設における帰宅困難者の安全確保として、どのような対策を講じているのか。

答 公職選挙法で市議会議員は寄附や暑中見舞いを出すことが禁止されています。禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

公職選挙法で市議会議員は寄附や暑中見舞いを出すことが禁止されています。

禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

市議会議員一同

渡辺 周二 議員(一問一答方式) ネット選挙解禁による有権者のメリットは —候補者や政党と双方のやり取りが可能となる—

問 ネット選挙運動については、国会で長い間議論が重ねられてきたが、解禁となった背景や趣旨はどのようなものなのか。

答 インターネットやスマートフォン等の急速な普及に伴い、選挙運動期間における、候補者に関する情報の充実や有権者の政治参加の促進を図ることである。

ネット選挙解禁でできること	ネットで選挙運動ができる人たち
候補者	○
政党	○
一般有権者	○
ウェブサイト	○
SNS	○
電子メール	△ ※条件を満たせばOK
有料ネット広告	×

※送信先は、選挙についてのメール送信を求めた人と、政党のメールマガジンなどの受信者のうち、選挙運動用メールを「いらない」と発信元に伝えなかった人に限定

問 具体的にどのような行為ができるようになるのか。

答 選挙運動期間に入ると、候補者等はホームページやブログの更新等を行えなかったが、今回の改正により、マネフェストや個人演説会の案内、演説や活動の様子を撮影した動画などを、随時ホームページや電子メール等で提供可能となる。

問 インターネット普及率は約8割と言われ、さまざまな効果

果が期待できるが、有権者にはどのようなメリットがあるのか。

答 候補者や政党などから発信された公約や政策などの情報を選挙運動期間中もリアルタイムで受け取ることができ、また、有権者が関心を持った政策について、自らの考えを発信したり質問することにより、候補者等から回答を得ることも可能で、有権者が候補者と双方のやり取りができることなどである。

神谷 昌宏 議員(一問一答方式) 交差点移設のチャンスを生かし駅北口周辺に賑わいを —地域の皆様とともに検討していく—

問 刈谷市都市交通戦略において、刈谷駅周辺の交通関連施策はどのようなものがあるか。

答 平成23年に南北連絡道路が整備されたことに伴い、市営相生駐車場から県道知立東浦線を経てデンソー本社南側へ通じる道路の交通需要が増加しているため、相生町交差点にある信号を、現在信号のない東側の交差点へ移設する計画である。

までの自動車交通量の減少が予想されるため、例えばその道路を一方通行にして車線数を減らし歩道を広げること、人々が交流できる空間を創出するなど、安全で快適な交通形態となるよう検討していく。

問 信号交差点が移設されれば、広範囲にわたり交通の流れに影響が及ぶと思われるが、刈谷駅北口のまちづくりによどのように生かしていくのか。

答 刈谷駅から相生町交差点

までの自動車交通量の減少が予想されるため、例えばその道路を一方通行にして車線数を減らし歩道を広げること、人々が交流できる空間を創出するなど、安全で快適な交通形態となるよう検討していく。

問 検討は、どのような組織でいつ頃から行うのか。

答 地域の方々とともに検討していきたくと考えている。まずは現状の利用実態を調査し、調査結果をまとめた後、9月以降に地域住民や地元商店街、周辺企業のそれぞれの代表からなる組織を立ち上げ、検討していくことを考えている。

白土 美恵子 議員(一問一答方式) 先天性風疹症候群に対する本市の取り組みについて —6月1日からワクチン接種費用の一部を助成—

問 風疹が全国で大きく流行し、妊婦が感染すると胎児に影響を及ぼす先天性風疹症候群が懸念される。県や安城市では予防接種費用の一部を助成しているが、本市の取り組みはどうか。

答 本市もワクチン接種費用の一部を助成する。助成額は本人負担額のうち5千円を上限とし、期間は本年6月1日から来年の3月31日まで、受付は7月1日から開始である。



問 どのような手続が必要か。

答 保健センターで用意してある申請書に予防接種の領収書を添えて申請すると、口座に振込まれる。6月1日以降に既に接種を受けた方も同様である。

問 刈谷市として市民に配慮した点はあるか。

答 県の助成対象は、妊娠を予定・希望している女性とその

夫だが、本市は妊娠中の女性の夫も対象である。また、市民税非課税世帯には助成の上限を1万円にするなど、低所得者にも配慮している。

問 赤ちゃんへの深刻な影響を認識するためにも行政は注意喚起を進めてほしいが、対象者や予算はどのくらいか。

答 対象者は約千二百人、助成額の総額は六百万円程であり、既存の予算の中で対応していく。

新海 真規 議員(一問一答方式) 市民に愛される美術館を目指し、一層の利便性向上を —公平性と効率性を重視した利用機会の提供に努める—

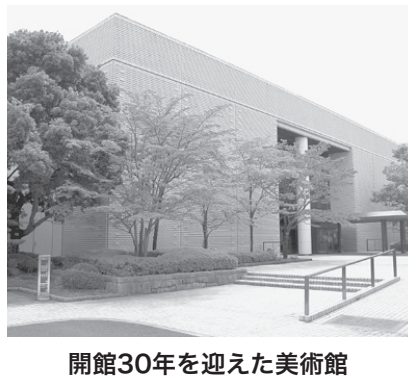
問 美術館の第2展示室は、最も小さく使い易いことで抽選倍率が高いが、小団体の競争率を平準化するために、第3展示室に間仕切りを設置して分割募集をしようか。

答 今後、ほかの展示室との

公平性も勘案しながら、第3展示室の分割募集を検討していく。

問 美術館を利用する規模の大きな団体が作品の搬入・搬出をする際、いつも駐車場が不足しているが、搬入・搬出を休館日である月曜日にできないか。

答 月曜日は、定期清掃や施設修繕、美術館企画展の展示・撤去作業等を行うため、貸館としての利用者の搬入・搬出は行えないが、今後も隣接する中央図書館の駐車場を有効活用することにより対応していく。



開館30年を迎えた美術館

問 「芸術家の作品を鑑賞する機会の提供と、市民の作品を発表する機会の提供の、双方の

バランスを適切に配分することが今後の課題である」という市民からの指摘に対し、どのように考えているか。

答 美術館の展示室は、企画展や所蔵品展としての利用と、貸館としての利用が約半分ずつとなるよう年間スケジュールを立てているが、今後もバランスを考え適切に対応していく。

鈴木 絹男 議員(一問一答方式) 鉄塔跡地周辺地域にスマートTOWNの建設を —拡大市街地の調査を進め、今後調査研究をしていく—

問 第3次都市計画マスタープランにおいて、拡大市街地の新たな地区として鉄塔跡地周辺地域が対象となっているが、依佐美送信所跡地にメガソーラーができるかと聞いている。鉄塔跡地周辺地域における拡大市街地の計画に影響はないのか。

答 拡大市街地への影響はないものと考えており、今回のメガソーラーは太陽光発電設備の実証実験として建設されると聞いているので、市街化区域編入の際には改めて協議していく。

問 国内の幾つかの地域では、再生可能エネルギーを取り込み、発電施設と需要側の双方で管

理するよう、電力の新しい系統制御を行っていく仕組みを構築したスマートTOWNへの取り組みがある。メガソーラーを活用し、鉄塔跡地周辺地域をスマートTOWNとするような考えはあるのか。

答 スマートTOWNは、次世代エネルギー・社会システム実証地域として横浜市、豊田市、京都府、北九州市の4地域で取り組みが行われている。鉄塔跡地周辺地域のスマートTOWN化について現在検討を行っているが、拡大市街地の調査を進めていく中で、今後調査研究をしていきたい。

上田 昌哉 議員(一問一答方式) 災害時に、学校に設置してあるプロパン設備の活用を —費用や安全面から、炊き出しは学校給食センターで行う—

問 刈谷市内の小中学校のプロパンガスの設置状況はどうか。

答 市内に5校あり、小垣江小と双葉小にはバルクタンク、富士松北小、刈谷東中、富士松中にガスボンベを設置している。

問 バルクタンクの設置に関し、プロパンガス団体と交渉することにより、費用の調整や災害時の協定を結ぶ考えはあるか。

答 災害時の協定については、刈谷ガス協同組合に申し入れたが、ガスボンベ容器の備蓄が少ないという理由により、協定の締結には至っていない。

問 双葉小のバルクタンクに、外部の取り出し口をつけることにより「災害用バルクタンク」に変更する考えはあるか。

答 屋外での炊き出しは、風による立消えや接続不備によるガス漏れが懸念される。地域防災計画では第1、第2給食センターを炊き出し施設としており、やむを得ず避難所で炊き出しする場合は家庭科室の調理器具などを活用するべきと考えている。

問 富士松中に災害用バルクタンクを設置し、災害に強いモデル校としてどうか。

答 改修工事費等費用がかかるため難しい。損傷がなければ既存のプロパンボンベで災害時

議会改革に取り組んでいます。

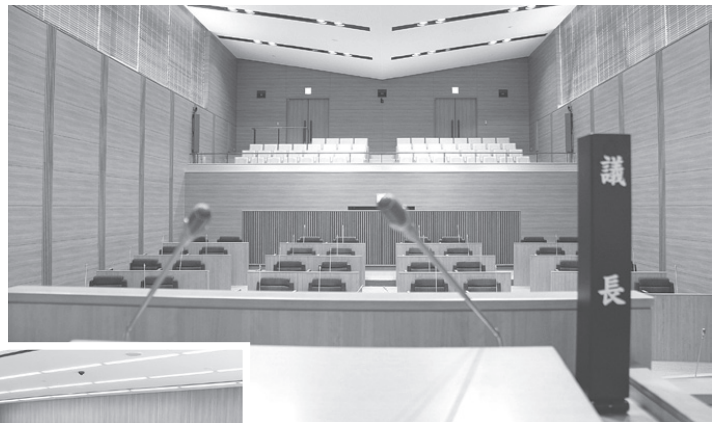
刈谷市議会では、市民に信頼される議会・開かれた議会を目指して、日々取り組んでいます。その一つとして、議会運営委員会において「議会運営等における検討課題」と題し、各会派から意見を出し合い、さまざまな検討をしています。

今後も市民意識の高揚や首長による行政改革に対応すべく、議会の充実・活性化を図ります。

これまでの取り組み

- 一般質問に一问一答方式を導入（平成21年3月定例会より）
傍聴者にわかりやすい議会を目指し、従来の複数の項目をまとめて質問し、まとめて答弁をする「一括質問一括答弁方式」に加え、それぞれの項目ごとに質問・答弁を繰り返す「一问一答方式」を導入しました。現在は一问一答方式が主となり、市民のみなさんから「わかりやすくなった」との評価を得ています。
- 議長交際費の執行状況のホームページ公開（平成20年4月より公開）
議長が市議会を代表して、対外的な活動をする際に支出することが認められている議長交際費の執行状況を、月別にホームページ上で公開しています。（「刈谷市議会」で検索してください）
- 政務活動費の支出状況のホームページ公開（平成24年7月より公開）
議員が調査研究等を行うための費用である政務活動費について、用途の透明性を図るため、会派別の支出状況を、年度別にホームページ上で公開しています。

議長席から見た本会議場



委員会室の様子

平成24年度分 政務調査費 会派別支出状況

会派名	収入		支出							差引額
	年度当初	会派等 構成員 変更後	研究調査費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広聴費	その他経費	計	
政 明 クラブ (8人→9人)	1,800,000	2,025,000		678,810	66,147	38,600			783,557	1,241,443
市 民 クラブ (7人→6人)	1,575,000	1,350,000		356,100	207,048	48,050			611,198	738,802
公 明 クラブ (2人→3人)	450,000	569,450	93,080	380,480	51,214				524,774	44,676
日本共産党議員団 (3人)	675,000	675,000	55,170	242,190	7,340				304,700	370,300
清 風 クラブ (3人→2人)	675,000	451,897	110,865		19,765				130,430	321,567
自 民 クラブ (3人→1人)	675,000	225,000							0	225,000
志 誠 会 (2人)	—	450,000		188,380	15,000				203,380	246,620
前 期 議 長 (議員会派から異動)	225,000	0							0	0
後 期 議 長 (市長クラブから異動)	—	225,000		59,350	13,330				72,680	152,320
前 期 副 議 長 (議員会派から異動)	225,000	105,550		100,910	4,640				105,550	0
後 期 副 議 長 (議員会派から異動)	—	223,000			5,990				5,990	217,013
計	6,300,000	6,300,000	258,915	2,008,220	390,474	86,650	0	0	2,742,259	3,557,741

※ 会派等構成員の異動は、以下の理由によるものです。
 ①6月に自民クラブが解散し、新たに志誠会が結成されるとともに、自民クラブが再度結成されたこと
 ②6月に議長及び副議長が交代したこと
 異動する際、異動前の所属会派で支出した金額がある場合は、異動先の会派には残額が支給されます。
 ※ 差引額については、市に返納されました。

政務活動費の支出状況

●中学生が議会に（平成23年度より）

市議会を身近に感じてもらうため、毎年、市内の中学3年生全員を対象とした「地方自治制度学習」を本会議場で実施しています。

今年度は11月に実施予定です。

●議会基本条例検討特別委員会を設置（平成23年12月定例会にて）

市民に開かれた議会の推進を図るために、議会の最高規範となる「議会基本条例」の制定へむけ、平成23年12月に委員会を設置しました。現在は素案が完成し、市民のみなさんから意見募集を行うなど、条例制定へ向けた最終調整を行っています。

●議案への全議員の賛否を公表（平成25年6月定例会分より）

賛否が分かれた議案について、市議会だよりと市議会のホームページで全議員の賛否を公表しています。

議会を傍聴してみませんか。

市議会の定例会は、3・6・9・12月の年4回開催されています。

市議会では、市民の皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されています。市民の皆さんが選んだ議員の活動状況や、市政の内容を知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

〈傍聴手続き〉

傍聴を希望される方は、当日各受付までお越しください。持ち物は特に必要ありませんので、住所・氏名・年齢を記載し、傍聴券を受け取りのうえ入場してください。

本会議：市役所10階、傍聴受付（60席＋車椅子用スペース2席）

委員会：市役所9階、議会事務局受付（15席（車椅子可））

※詳しくは議会事務局（TEL62-1032 FAX25-1111）までお問い合わせください。

○託児を希望される方へ

傍聴の際、臨時保育室「カンガルールーム」をご利用できます。

傍聴希望日の3日前までに議会事務局までご連絡ください。

○手話通訳を希望される方へ

傍聴の際、手話通訳者派遣制度をご利用できます。傍聴希望日の1週間前までに障害福祉課（TEL62-1208 FAX24-2466）までご相談ください。



市役所8階にあるカンガルールーム

～ 議会豆知識 ～

政務活動費

これまでは「政務調査費」という名称でしたが、法律と条例が改正され、平成25年度から「政務活動費」に名称が変更されました。

1人あたり年額22万5,000円が交付され、残額があった場合には市へ返納されます。

政務活動費は、議員が調査研究活動などを実施したり、資質の向上を図るために欠かせない費用であるとともに、支出の透明性が求められています。

刈谷市議会では、1円単位で領収書を保管し、支出状況をホームページで公開するなど、透明性の確保に努めています。

充実を目指した市議会のこの一年

市議会は多様化する行政ニーズに対応するため、様々な課題の解決に努力しました。平成24年8月から25年6月までの活動を報告します。

議会は市民の代表機関

議会は市民生活の安定と向上を目指し、施策や制度を検討し、市に要望します。

市当局もこの要望を受け、新たな施策やさらに充実した制度を検討し、議会に提案します。また、議員もよりよい施策の実現に向け、議案を提出します。

一般質問で市政を問う

議会では一般質問を行い市政全般について考え方や方針をた

- 【審議した議案】 115件
- 【審議した請願】 6件
- 【審査した陳情】 10件
- 【可決した意見書】 3件

だしたり、事務の執行状況についての報告や説明を求めます。これにより、市政運営を監視する役割を担っています。この1年間で64人が登壇し154項目にわたり、質問しました。会議録は市役所議会事務局のほか、市政情報コーナー、図書館、インターネットでもご覧いただけます。

■質問された主な項目

スポーツによる刈谷市の活性化について、防災対策について、ケーブルテレビの可能性とまちづくりについて、教育施策の現状と拡充について、障害者の就労支援について、行政経営改革について、刈谷城築城480年記念事業について、平和事業の取り組みについて

そのほかの取り組み

■一般質問で刈谷城築城480年記念ポロシャツを着用
木曜日が、市職員の記念ポロシャツ着用推奨日になっていることもあり、6月13日木曜日に開催された本会議において、多くの議員が記念ポロシャツを着用して会議へ臨みました。



開かれた議会へ

- ホームページで情報を配信
会議録の検索や一般質問の様態を映像で見ることができます。「刈谷市議会」で検索し、「会議録をみる」「議会映像をみる」をクリックしてください。
- ケーブルテレビで一般質問を録画放映
- 臨時保育室「カンガルールーム」を開設
傍聴の際に、託児希望があれば臨時保育室を設け、子育て中の保護者の利便を図ります。



編集後記

かけはし

刈谷市は今年度「刈谷城築城480年記念事業」に力を入れています。最近では刈谷藩初代藩主、水野勝成の「かつなりくん」の着ぐるみを用いたイベントで見かけるようになりました。産業のまちで、なかなか歴史の芽が育たない本市にとって大切な事業だと考えます。子供たちに、自分たちの住んでいるまちの歴史を知ってもらい、郷土に愛着のある若者に成長することを願っています。

政府の積極的な経済政策が続く中、市内の経営者の方々と話をすると、安定した仕事があるようです。自動車の北米や東南アジアでの販売好調が一つの要因だと考えられます。刈谷市は財政が安定している間に、未来に向けて人口・産業・福祉・子育て等あらゆる課題を検討して安定を図る努力が必要です。

その為には「市民の声」が大切です。議会と行政は積極的な情報公開に努めていきますので、市民の皆様からのご意見を頂きたいと願っています。

◆6月定例会では15名の議員が一般質問に登壇しました。一般質問は、言わば市民の代表である議員が「市民の声」を行政に届ける大切なものです。市長と議会はお互いが切磋琢磨して住みやすい刈谷市を作らなければなりません。これが二元代表制の重要な役割です。議会では、刈谷市がより良いまちになることを目指し、積極的に議論していきます。ぜひ一度傍聴へお出かけください。

(議会広報委員会)

刈谷市議会1年の歩み

～議会だよりの記事を抜粋～

8月臨時会号（平成24年8月8日・会期1日間）

「役員改選のための臨時会を開催」

第70代議長に沖野温志氏、第71代副議長に星野雅春氏を選出

◆議会選出監査委員、各委員会委員などを選出

9月定例会（平成24年9月5日～25日・会期21日間）

「平成23年度の決算を認定」

◆公共下水道雨水幹線整備工事請負契約の締結についてを可決

◆陳情2件を審査。

◆定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書を提出

◆一般質問に16名、38項目を質問

12月定例会号（平成24年12月5日～21日・会期17日間）

「4月から子ども相談センターを設置」

◆刈谷市交通安全条例を一部改正

◆各委員会が優れた事業を行う自治体などを視察（10月、11月）

◆請願6件を審議、陳情6件を審査

◆国の私学助成の増額と拡充に関する意見書を提出

◆愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書を提出

◆一般質問に15名、35項目を質問

3月定例会号（平成25年2月14日～3月22日・会期37日間）

「平成25年度予算を可決」

◆刈谷市公共施設維持保全基金条例を制定

◆刈谷市下水道条例を一部改正

◆刈谷市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例を一部改正

◆一般質問に18名、39項目を質問

6月定例会号（平成25年6月12日～28日・会期17日間）

（詳細は本号をご参照ください）

◆刈谷市子ども・子育て会議条例を制定

◆陳情2件を審査

◆一般質問に15名、42項目を質問